

北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟会総会・決起集会が開催されました

7月1日(土)に北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟会の理事会ならびに年次総会および決起集会がJA福井県小浜支店で開催され、県内市町首長や県選出国會議員など約300名が出席しました。

総会では、令和4年度の事業、収支報告のほか、役員改選として、会長に松崎市長、副会長に美浜町長および敦賀市議会議長を再任する議案、令和5年度の事業計画、収支予算などを承認しました。

総会に続いて開催された決起集会において、松崎会長は、「北陸新幹線は、大阪まで全線開業してこそ最大の効果を発揮する。課題を解決し、1日も早い認可・着工を実現すること。沿線住民の熱い思いを、これまで以上にアピールしなければならない」などとあいさつ。次に登壇した高木毅衆議院議員は、京都府の一部で反対運動があることに触れ、「課題があるから諦めるということは決してあってはいけない。」と述べました。その後、①敦賀・新大阪間について、環境アセスメントを丁寧かつ迅速に進めること。また、「北陸新幹線事業推進調査」を着実に進め、施工上の課題を早期に解決するとともに、従来、認可後に行っていた調査を先行的・集中的に行うことにより、開業までの期間を最大限短縮すること。②地元との情報共有を徹底しながら調査・検討を迅速に進め、新幹線小浜駅をはじめとする駅位置・詳細ルート等の情報や認可・着工および全線開業に向けたスケジュール感を早急に明らかにすること。③貸付料財源の最大限の確保(算定期間延長等)や国費の大幅な増額等により整備財源を確保するなど、着工5条件を早期に解決し、1日も早い全線開業を実現すること。④JR小浜線は特急が運行されておらず、新幹線開業により旅客輸送量が著しく低下する路線ではないため、経営分離される並行在来線には該当しない旨、国の考えを確認することの4点を盛り込んだ決議を採択し、最後に牛田若狭青年会議所理事長の発声によるガンバロー三唱で決意を確認して閉会しました。



▲決起集会の様子